

萱瀬小だより



やさしさ ゆめ げんき

令和3年7月20日

No.9

文責 福永琢也

☆1学期を終えて

昨年度同様来賓等お招きしない入学式よりスタートした新学期。しかし、昨年度と違い「歓迎遠足」「授業参観」「PTA総会」「教育週間」「水泳指導」と「相撲大会」以外は予定通り実施をすることができました。保護者の皆様には、その都度ご理解とご協力をいただき改めて感謝申し上げます。2学期にも学校内外の行事がたくさん予定されています。まだまだ予断を許せない状況ではありますが、できるだけ実施をする方向で準備を進めていこうと考えています。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

夏休みといえば、それぞれの世代で若干の内容の違いはあれども、日本人ならば共通の話題となる経験です。またその思い出は一生記憶に残るものではないでしょうか。明日から夏休み。それぞれの子どもたちが素敵な思い出を残せるよう祈っています。

☆終業式の講話より

1学期のまとめの話よりも、今伝えたいことということで話をしました。

- ・生きていく中で誰もが必ず失敗をする
- ・そこで落ち込んでいるだけでは、きつばかり
- ・「失敗」→「ではどうすれば」→「やってみよう」という考えを持つことで元気が出る
- ・どうしてもないときは「しょうがない」であきらめ、次に向かうことも大切

という内容で話しました。萱瀬の子どもたちの「やさしさ」に失敗にもくじけない心が育ってくれればと思っています。

☆中学校の職場体験に先輩来校

7月14日(水)～16日(金)まで、萱瀬中学校の職場体験ということで、本校の卒業生でもある「北村 心愛さん」が本校で体験をしました。心愛さんは将来「教育」に関係する仕事に就きたいそうです。毎時間、学級を変えて体験をしてもらいましたが、小学生は中学生の訪問が嬉しく、心愛さんの周りにはいつも子どもたちがいる状態でした。「教師は大変な仕事、全員が理解できるように発表などの習慣づけ、学習の雰囲気作りと色々な工夫が見られて楽しかった。」との感想をもらいました。しっかりとした視点にさすがという思いです。3日間お疲れ様でした。



☆ここにも支えていただいている方が

7月16日(金)に3年生が「うなぎの放流」体験をしました。大村市の農林水産振興課と郡川内水面振興協議会にお世話をしていただき、榎茶屋の河川公園で実施をしました。毎年実施をしていたそうですが、子どもたちに郡川について知って欲しいということで、小学校にお話をいただきました。始めは恐る恐る触っていた子どもたち、しかしすぐに慣れ、一匹ずつ手に取って放流していました。郡川の環境を守ろうと尽力されている方々に私も認識を新たに、改めて感謝申し上げます。